

協力隊新聞

2024年
4月号
Vol.25

| 発行 | 地域おこし協力隊5名 編集長 三村邦彦 桜川市ヤマザクラ課 | 電話 | 0296-58-5111

大盛況！子どもワークショップ：高校生から教えてもらおう！
—地元の安全小麦「ユメシホウ」を使って「うどん打ち」—

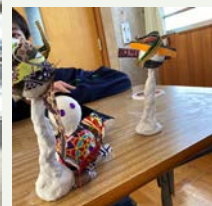
大岩瀬高校と真壁高校の生徒さんが、市内の小学生を相手に大奮闘。うどん打ちと、アフリカの布を使った雛人形作りを一对一で教えてくれました。

子供ワークショップ事業は令和5年度5回目の開催になります。最終回（2/24土）は20人以上の小学生が集まり賑やかに行われました。午前中は先生の指導のもと高校生が、まずはうどん打ちの体験学習です。今回の目玉の一つは真壁高校生が作った小麦「ユメシホウ」を使っ



たこと、そしてもうひとつは、会場を県立真壁高校の農場にある大きな調理室をお借りして開催したことです。わいわいと作ったうどんをお昼ごはんに食べていると、

もう小学生が集まる時間です。せわしく本番のワークショップが始まりました。生地をこねたり、ふんだり、子供たちは一生懸命。うどんを寝かせる時間には別室で雛人形制作のワークショップ、これも高校生がつきっきりで指導。布はNPO経由で入手したアフリカ産のもので、発展途上の国々の援助につながるそうです。この楽しい体験が、子どもたちの郷土愛につながり、さらに次の世代にバトンタッチされることを願っています。楽しそうな雰囲気は動画をご覧ください。（三村）

2名の現役大学生が桜川市でインターンシップ
「茨城ベンチャー留学」の1ヶ月

インターンシップとは学生が企業に入り込み実際の仕事を体験するプログラム。「地域コーディネーター」は、その地域が持つ課題を解決するため、他の地域から人材を呼び込む調整役。今回私は地域コーディネーターとして、企業と学生をマッチングし、学生と受け入れ企業との間に入り、良い成果が導き出せるようサポートしました。



受け入れ企業は「イワセアグリセン



ター」さん、学生は二人とも女性で、東京、山形から来てくれました。今回のプロジェクトは、常陸秋そばの販促グッズの制作・・・のぼり旗、製品紹介、会社案内、蕎麦打ちの入門書などの制作や、インスタグラムのアカウントの開設、蕎麦打ち解説の動画制作をしてもらいました。自分たちも蕎麦打ちを何度も練習し、カンペキに打てるようになりました（本人たちの評価です😊）。

企業さんも忙しい現業の中、心のこもった対応をいただき、先日開催された成果発表会では、学生と一緒に登壇しプレゼンテーションを行いました。100点満点の出来栄でした（コーディネーター三村の評価です👍）。

若い人を都会から呼び込む一つの実験として、私も多くを学びました。学生さんは友人知人のいない地方都市に1ヶ月も滞在し企業体験をするという、その勇氣に感服しました。学生さんたちが関係人口として桜川とつながり続けてくれること、友達との会話の中で桜川の良さをアピールしてくれること、何かの機会にはまた遊びに来てくれること、などなど願ってやみません。しばらくはインターン・ロス状態になりそうです。あ・り・が・と・う （三村）

加波山市場が1か月にわたり出店しました

2月4日から3月3日まで真壁のひな祭りが開催され加波山市場として旧高久家住宅に出店をさせていただきました。遠方からの観光客も多く、地域の産品をアピール出来たのではないかと思います。10月からの着任でしたので、真壁のひな祭りは初めての経験になりましたが、とても良いお祭りだと思いました。新型コロナの流行もあり、ここ数年は来れなかったが久しぶりに来たという方も多く、ひなまつりを楽しみにしていたという感想を聞くことができました。地元の方だけでなく遠方からも沢山の人が来て楽しんでもらえる桜川を代表するお祭りはとても貴重なと感じています。真壁のひなまつりは今後もずっと続いて行って欲しいと強く思いました。加波山市場として参加でき、とても良い経験になりました。

(尾崎省造)

ひなまつり移住相談カウンター開催御礼

真壁のひなまつり期間中に開催した移住相談カウンターは、多くの方にご来場いただき無事終了することができました。お雛様を眺め、街歩きをする中で桜川市の良さを感じていただけた方々に、移住の候補地として桜川市をPRできたと思います。移住とは切っても切り離せない住宅の相談について、桜川市が行っている空家バンクの紹介もさせていただきました。桜川市で家庭菜園などを楽しみながらスローライフを送りたい。そういったご相談も受けています。

(尾崎亜美)



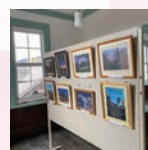
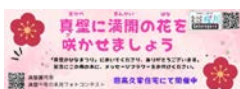
特集

真壁のひなまつり

「真壁のひなまつり」の脇役たち… 月の写真展覧会と満開のメッセージフラワー

協力隊の三村です。桜川に移住して3年目、コロナ禍で中止、そして縮小開催だった「真壁のひなまつり」のフルバージョンを初めて体験、2つの脇役事業を担当しました。やってくるお客様にもっともっと喜んでほしいと企画したのが、①「まかべ千年の名月フォトコンテスト」入賞作品の展示会 ②メッセージフラワー「真壁に満開の花を咲かせましょう」花を型どった折り紙にお願い事を書いてもらったのですが、その数500枚。用意が追いつかないくらいの盛況で、嬉しい限りでした。流し雛の日にこの満開の花もご祈禱していただきました。皆さんのたくさんの想いが叶いますように…(三村)

①フォトコンテストは専用のサイトからご覧いただけます ➡



【白金ミートフェスティバル】へ参加してきました。

3月9日・10日の二日間、桜川市をPRするべく、東京都港区の白金商店街で開催された白金ミートフェスティバルに参加して来まし♪桜川市からは山桜はちみつを使用したクラフトビール「ハニーヴァイツェン」や、おつまみにもなるお煎餅など桜川市を味わえる商品を準備し楽しんでいただきました。現在、桜川市のふるさと納税と加波山市場でしか手に入らない「ハニーヴァイツェン」は、とても飲みやすいと好評で、生ビールは無事完売!また、来場された方々に移住相談の案内やふるさと納税の情報をQRコードで読み込める販促カードをお渡しすることで、しっかりとPRできたと思います。きっとシロガネーゼのみなさんも桜川市を覚えてくれたのではないのでしょうか?これからもどんどん全国各地いろんな所で桜川市のPRを行ってみたいです。

(尾崎亜美)



コミュニティカフェ “ふらっと”開催のご案内

日時：4月18日(木) 10:00~15:00
会場：加波山市場 カフェスペース
参加費：無料

今回のワークショップは、桜の小物入れを折り紙で作りたいと思います。春らしい桜の小物入れと一緒に作ってみませんか?キッズスペースもご準備していますので、お



子様連れでもお気軽にどうぞ♪事前予約は必要ありません。お買い物のついでに“ふらっと”お立ち寄りください。
(尾崎亜美)

空き家バンク登録のお願い

空家バンクは、桜川市内にある空家の売却や賃貸を希望する所有者等の方から申し込みを受けた空家の情報を登録し、本市に移住や定住を希望する方などに、市のホームページなどで、その物件に関する情報を提供する制度です。桜川市に空家をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非空家バンクを利用して空家の活用をしてみませんか?登録いただいた物件は、桜川市の空家バンクのHPへの掲載や、移住相談の際にPRさせていただきます。また、空家バンクを利用して、購入をする方も利用登録が必要になりますので空家バンクの詳細についてはコチラからご確認をお願いします。

(尾崎亜美)

